

「夜間議会」 51人が傍聴

福島 初開催、関心高く

【福島】福島町議会は、は仕事などで傍聴できな
九日夜、初の試みとして、い町民五十一人が詰め掛
夜間議会を開いた。日中、一般質問に耳を傾け



傍聴席いっぱいの町民が詰め掛けた夜間議会

この日は定例会初日、
で、夜間議会は午後六時
半から二時間半にわたっ

て開かれた。傍聴席は三十席しかないため、入り切れない町民は町役場ロビーのテレビ中継を見た。

普段より多い八氏が一般質問を行った。傍聴者は、まちづくり基本条例や町の除排雪の体制などについて、村田駿町長と町議の論議を真剣な表情で見守り、熱心にメモを取る人もいた。

五十代の男性は「また夜間議会があれば、傍聴してみたい」。一方、六十代の女性は「照明費用などを考えると夜は不経済。日曜日に開く方がよいのでは」と話した。町議会は、訪れた町民を対象にアンケートを実施。その結果を踏まえて、引き続き実施するかどうかを検討する。(満園徹)